

第 59/61/116(家電機器), 第 72(家庭用自動制御装置)小委員会 審議結果報告書

2021 年 6 月 21 日  
一般社団法人 日本電機工業会 家電部

## 1. 担当分野

日本電機工業会 家電部が、電気用品調査委員会の国内小委員会として担当している分野を表 1 に示す。

表 1 担当分野

小委員会	IEC		名 称
	TC	SC	
59	59		家庭用及びこれに類する電気機器の性能
		A	電気食器洗機の性能
		C	加熱機器の性能
		D	家庭用電気洗濯機の性能
		F	電気掃除機の性能
		K	電子レンジ、オーブン及び類似器具の性能
		L	小形家電器具の性能
		M	家庭用電気冷蔵・冷凍機器の性能
		N	空気清浄機の性能
61	61		家庭用電気機器の安全性
		B	電子レンジの安全性
		C	電気冷蔵庫の安全性
		D	家庭用空調機器の安全性
		H	農場機具の安全性
		J	業務用掃除機
72	72		自動制御装置
116	116		電動工具の安全性

## 2. トピックス

### (1) 国内審議関連－「電気用品の技術基準」の分野

電気用品の技術基準に関する審議を行っていないため、特にございませ。

### (2) 国内審議関連－「日本産業規格 JIS」の分野 (別表第十二採用予定 JIS 他)

第 59/61/116 小委員会において審議 (書面審議) を実施し、以下の JIS 案を承認した。

規格番号		規格名称
C 62841-2-8	制定	手持形電動工具, 可搬形電動工具並びに芝生用及び庭園用電動機械の安全性－第 2-8 部: 手持形シャー及びニブラの個別要求事項
C 62841-2-9	制定	手持形電動工具, 可搬形電動工具並びに芝生用及び庭園用電動機械の安全性－第 2-9 部: 手持形タッパ及びスレダの個別要求事項
C 62841-2-11	制定	手持形電動工具, 可搬形電動工具並びに芝生用及び庭園用電動機械の安全性－第 2-11 部: 手持形往復動のこぎりの個別要求事項
C 62841-3-11	制定	手持形電動工具, 可搬形電動工具並びに芝生用及び庭園用電動機械の安全性－第 3-10 部: 可搬形切断機の個別要求事項

参考 上表 4 件の JIS 発行の際、移行先の次の 4 件の JIS は廃止。

JIS C 9745-2-8 手持ち形シャー・ニブラ  
JIS C 9745-2-9 手持ち形タッパ  
JIS C 9745-2-11 手持ち形往復動のこぎり  
JIS C 9029-2-10 可搬形切断機

【今後の予定】

未 定 第 59/61/116 小委員会  
未 定 第 72 小委員会

(3) IEC 関連

2021 年 3 月～2021 年 5 月に回答した IEC 規格原案に対する回答状況を表 4 に示す。

表 4 IEC 規格原案の回答状況 (概要)

コメント	NP				CD				CDV				FDIS				DTR,DTS 等				Q,DC 等	
	賛成		反対		有		無		有		無		有		無		有		無		有	
	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無
TC59 関係 (SC59A,C,D,F,K,L,M,N 含む)			1		2	2			1				2								4	1
TC61 関係 (SC61B,C,D,H,J 含む)									7	12	4										13	30
TC72 関係																					2	2
TC116 関係		1							4				1									1
合計(件)	2				4				28				3								53	

【備考】 NP : New Work item Proposal, CD : Committee Draft  
CDV : Committee Draft for Vote, FDIS : Final Draft International Standard  
DTR : Draft Technical Report, DTS : Draft Technical Specification

【トピックス＜反対した理由 他＞】

TC/SC	番号	種別	文書タイトル／提案概要	審議概要	対応	コメント
59	201	NP	PNW 59L-201 ED1: Household and similar use electrical rice cookers Methods for measuring the performance	炊飯器の性能測定方法。熱効率、待機電力、調理容器塗膜の耐久性、調理容器の伝熱均一性、調理均一性（ご飯の固さ、おこげ）の評価等。	反対	米飯の文化、米の種類や特性は地域によって全く異なり、全ての地域で利用できる標準的な嗜好や米を定義することは非常に困難なものであるにもかかわらず、NP では、それらが考慮されていなく、特定の国に適した規格案になっている。

【他の小委員会に特に連絡したい事項等】

特になし。

【今後の予定(国際会議の予定等)】

2022 年 10 月	サンフランシスコ (アメリカ)	TC59	Plenary
2021 年 11 月	Web 会議	TC61	Plenary
2022 年 4 月	Web 会議	TC72	Plenary
未 定		TC116	Plenary

以 上